

事業報告書

事業報告書
令和5年度（令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで）

（１）農作物共済関係

（ 引 受 ）

年 産	共済目的	組員数	引 受 面 積	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
		人	a	円	円	円	円
令和5年産	水 稲	10,239	2,433,907	20,778,684,484	11,551,552		
	前年度比	△ 861	△ 198,960	△ 1,782,716,954	△ 191,179		
	麦	309	198,475	550,491,384	20,437,023		
	計	延 10,548 実 10,302	2,632,382	21,329,175,868	31,988,575	23,785,258	55,773,833
令和6年産	麦	279	181,080	551,836,864	19,406,149		
	前年度比	△ 30	△ 17,395	1,345,480	△ 1,030,874		

（ 引 受 ）

水 稲

引受面積は、収入保険への移行や水田の改廃、転作の深掘りなどにより、前年に比べ1,990ha減少し24,339haとなった。引受戸数は、収入保険への移行や高齢者の離農、担い手等への面積集積が進み861戸減少し10,239戸となった。

麦

令和6年産麦の引受面積は、収入保険への移行により前年産より174ha減少し1,811haとなり、引受戸数は前年より30戸減少し279戸となった。

(被 害)

共済目的	被害 組合員数	共済金	共済金 共済金額
水稲	人 268	円 89,593,636	% 0.4
前年度比	114	60,910,510	0.3
麦	30	3,733,896	0.7
前年度比	8	1,972,817	0.4
計	延 298	93,327,532	0.4

(支 払)

共済目的	支払月 日	実支払 共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
			保 険	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	そ の 他	
水稲	(令和5年8月10日・21日) 令和5年12月 5日 令和5年12月28日	円 89,593,636		円 52,039,937			円 0	% 100.0
麦	令和5年12月 5日	3,733,896		3,733,896			0	100.0
計		93,327,532	0	55,773,833	37,553,699	0	0	100.0

(被 害 ・ 作 柄)

水 稲

5月は高温・高日射で推移し、田植後の田水温が近年並みで推移したため活着は良好であった。コシヒカリの出穂期は平年より2日早く、出穂後20日間の平均気温は30.8℃(平年差+3.0℃)と過去最高で推移し、成熟期は平年より7日早い9月3日となった。北陸農政局による作況指数(農家節目ベース:1.90mm)は98の「やや不良」で、収量は7月下旬以降の高温・少雨の影響等により収量基準を満たす玄米が減少したことから511kg/10a(平年519kg/10a)となった。

被害状況では、6月28日及び7月12日から13日にかけての大雨の影響による河川、用水路の氾濫により、冠水、埋没及び地すべりの害が発生した。また、大雨による用水路等の損壊及び記録的な高温・少雨の影響により干害が発生した。中山間地域においてはイノシシやサルによる踏み荒らしや食害による被害が発生した。登熟期間の気温が高かった影響により県内全域で白未熟粒が多発生し、整粒歩合が低くなったため品質が低下した。

(被 害)

麦

播種後の10月以降の降雨により、排水条件の悪い圃場を中心に土壌湿潤害が発生し生育不良となった。また、登熟期間中の日射量が少なく、降水量が多くなったことから、品質の低下がみられた。一部の圃場では、5月の大雨の影響による倒伏被害が発生した。

(損 害 防 止)

1. 水稲の加入者に対して、事故の未然防止又は軽減を図るため必要な薬剤等の購入経費の一部として19,467,358円を交付した。
2. 鳥獣害防止対策支援事業として、被害の未然防止対策を行った組合員等(68件)に対して、5,780,000円を交付した。
3. 本県水稲の主要病害虫である、いもち病、紋枯病、ニカメイチュウ、ウンカ類、カメムシ類等による災害の未然防止を図るため、予察灯調査(6ヵ所)、病害虫定期定点(すくいとり等)調査ほ(45ヵ所)を設置し、調査資料に基づく地域ごとの予報・情報等に協力した。
4. 気象災害を未然に防止するため、N O S A I 気象情報(県内21ポイント)の提供を行った。

(2) 家畜共済関係

(引 受)

項 目 区 分		組合員数	有資格 頭 数	事業計画 頭 数	引 受 頭 数		引受頭数 事業計画頭数	共 済 金 額	徴収共済掛金	納入保険料	交 付 金	手持共済掛金			
死 亡 廃 用 共 済	搾 乳 牛	27	1,559	1,960	区分 一般	頭 1,891	96.1	千円 410,885	円 17,519,803	円 /	円 /	円 /			
					変更	△ 7									
	育 成 乳 牛 (子牛等)	23	421	720	一般	637 (25)	88.5	123,320	1,046,952						
				(50)	変更	0 (△ 13)									
	繁殖用雌牛	11	700	400	一般	331	78.5	107,760	787,762						
					変更	△ 17									
	育成・肥育牛 (子牛等)	29	2,815	3,740	一般	3,851 (347)	103.0	972,263	13,419,504						
				(290)	変更	0 (49)									
	種 豚	0	800	0	一般	0	—	—	—						
					変更	0									
肉 豚	4	17,156	6,740	6,451		95.7	75,912	23,596							
種 雄 牛	0	0	0	0		—	—	—							
計	94	23,451	13,560	一般	13,161	97.1	1,690,140	32,797,617	0	32,717,990	65,515,607				
				変更	12										
疾 病 傷 害 共 済	乳 用 牛	29	1,980	2,005	1,929		96.2	43,676	14,259,413	円 /	円 /	円 /			
	肉 用 牛	31	3,515	2,670	2,809		105.2	21,592	7,013,002						
	種 豚	0	1,452	0	0		—	—	—						
	種 雄 牛	0	0	0	0		—	—	—						
	計	60	6,947	4,675	4,738		101.3	65,268	21,272,415	0	21,293,192	42,565,607			
合 計		154	30,398	18,235	17,899		98.2	1,755,408	54,070,032	0	54,011,182	108,081,214			

(引 受)

死亡廃用共済では、令和4年度引受分の期末調整(変更)を行った。令和5年度期首の引受(一般)は死亡廃用共済では、計画に対し搾乳牛は69頭の減、育成乳牛は83頭の減、繁殖用雌牛は69頭の減、育成・肥育牛は111頭の増、肉豚は289頭の減となった。疾病傷害共済では、計画に対し乳用牛は76頭の減、肉用牛139頭の増となった。

(事 故)

死亡廃用共済

項 目 区 分	死亡頭数	廃用頭数	総 頭 数	支払共済金
	頭	頭	頭	円
搾 乳 牛	157	14	171	32,173,895
育 成 乳 牛 (子牛等)	20 (8)	0	20	1,928,122
繁殖用雌牛	5	3	8	1,488,381
育成・肥育牛 (子牛等)	125 (21)	5	130	16,738,840
種 豚	0	0	0	0
肉 豚	0	0	0	0
種 雄 牛	0	0	0	0
計	307	22	329	52,329,238

疾病傷害共済

項 目 区 分	件 数	支払共済金
	件	円
乳 用 牛	2,249	28,029,075
肉 用 牛	2,025	18,507,315
種 豚	0	0
種 雄 牛	0	0
計	4,274	46,536,390

(事 故)

死廃事故

搾乳牛で171頭（前年対比16頭の増）、育成乳牛で20頭（前年対比9頭の減）、繁殖用雌牛で8頭（前年対比1頭の減）、育成・肥育牛で130頭（前年対比15頭の減）となり合計で329頭（前年対比9頭の減）の事故が発生した。支払共済金は、令和4年度引受の期末調整による支払共済金の変更分を含め5,233万円（前年対比1,611万円の減）となった。肉豚については、事故除外方式での加入のため、対象となる事故は発生しなかった。

病傷事故

乳用牛で2,249件（前年対比104件の減）、肉用牛2,025件（前年対比538件の増）となり、合計で4,274件（前年対比434件の増）となった。支払共済金は4,654万円（前年対比16万円の減）となった。

(家畜診療所)

獣医職員数	管 内		診 療 件 数		そ の 他	
	有資格頭数	加入頭数	共済事故	事 故 外	予防接種	人工授精
人	頭	頭	件	件	頭	頭
2	5,495	4,738	1,088	1,502	1,477	152

家畜診療所では、通常の診療業務や人工授精のほか、伝染病予防注射を実施した。

(3) 果樹共済関係

(引 受)

① 収穫共済

年度	果 樹 区 分	組 合 員 数	引 受 面 積	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
令和 4 年度	りんご	人 77	a 2,853	円 74,200,000	円 2,443,702		
	な し	71	1,994	68,800,000	1,198,821		
	か き	36	1,071	13,440,000	106,473		
	計	184	5,918	156,440,000	3,748,996	△ 968,520	2,780,476
令和 5 年度	りんご	70	2,530	82,440,000	2,809,349		
	ぶどう	1	20	1,550,000	11,787		
	な し	69	1,801	62,860,000	1,067,373		
	か き	27	798	9,620,000	73,754		
	計	167	5,149	156,470,000	3,962,263	△ 1,140,345	2,821,918
前 年 度 比		△ 17	△ 769	30,000	213,267	△ 171,825	41,442

② 樹体共済

年度	果 樹 区 分	組 合 員 数	引 受 面 積	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
令和 4 年度	りんご	人 50	a 1,713	円 261,540,000	円 539,762		
	な し	43	1,336	118,870,000	147,487		
	か き	10	314	10,590,000	4,222		
	計	103	3,363	391,000,000	691,471	576,474	1,267,945
令和 5 年度	りんご	46	1,607	292,150,000	599,467		
	な し	41	1,311	113,910,000	149,145		
	か き	10	294	8,890,000	3,529		
	計	97	3,212	414,950,000	752,141	630,648	1,382,789
前 年 度 比		△ 6	△ 151	23,950,000	60,670	54,174	114,844

(引 受)

収穫共済

引受面積は、りんごは昨年度に対して3.2ha減の25.3ha、ぶどうは0.2ha増の0.2ha、なしは1.9ha減の18.0ha、かきは2.7ha減の8.0haとなった。りんご、なし、かきではいずれも収入保

(引 受)

樹体共済

引受面積は、りんごは昨年度に対して1.1ha減の16.1ha、なしは0.3ha減の13.1ha、かきは0.2ha減の2.9haとなった。いずれも廃業もしくは加入継続取り止めにより加入が減少したが、りんごにおいて収穫共済と同様に共済金額が増加したことで、樹体共済の共済金額は4億1,495万円となり、昨年度より2,395万円増加した。

(被 害)

果 樹 区 分		被害組合員数	共 済 金	<u>共 済 金</u> 共済金額
収 穫 共 済	りんご	6人	1,616,700円	2.2%
	な し	13	871,300	1.3
	か き	4	311,400	2.3
	計	23	2,799,400	1.8
樹 体 共 済	りんご	9	1,520,581	0.6
	な し	2	537,919	0.5
	か き	—	—	—
	計	11	2,058,500	0.5
合 計		34	4,857,900	

(支 払)

果 樹 区 分		支 払 月 日	実支払共済金 円	共 済 金 支 払 財 源					<u>実支払共済金</u> 共 済 金
				保 険 金 円	手持掛金充当額 円	法定積立金充当額 円	特別積立金充当額 円	そ の 他 円	
収 穫 共 済	りんご	令和6年2月26日	1,616,700		1,414,319			0	100
	な し	令和5年12月25日	871,300		1,200,075			0	100
	か き	令和6年2月26日	311,400		166,082			0	100
	計		2,799,400		2,780,476			0	100
樹 体 共 済	りんご	令和5年7月14日	1,520,581		1,022,086			0	100
	な し	令和5年7月14日	537,919		238,106			0	100
	か き	—	—		7,753			—	—
	計		2,058,500		1,267,945			0	100
合 計			4,857,900	0	4,048,421	809,479	0	0	100

(被 害)

収穫共済

令和5年4月8日の降雹の影響で、なしで傷果が発生した。また4月下旬からなし園地で黒星病が確認された。7月から長期間続いた高温に加え、梅雨明けから8月下旬にかけての強い日射により、なし、りんご、かきで日焼け果が発生し、なしでは果実にみつ症が多く発生した。一部のりんご園地ではカイガラムシによる被害果の発生や7月から長期間続いた高温の影響で、樹勢が弱まり木材腐朽菌が活発化した影響で落果する被害が発生した。11月6日の強風の影響で、りんご、かきで落果、傷果の被害が発生し、かきでは傷果が軟化したことで加工に適さない果実が多く発生した。

(被 害)

樹体共済

令和4年9月6日及び9月20日の台風並びに10月10日の強風の影響により、りんごで主枝・主幹の折損や倒木被害が発生した。また、令和5年1月下旬の積雪の影響により、りんごで主枝が折損する被害が発生した。さらに、7月から長期間続いた高温の影響で、樹勢が弱まり活発化した木材腐朽菌によってりんご、なしで樹体が枯死する被害が発生した。

(損害防止)

虫害に係る発生予察として、りんごでチャバネアオカメムシ、キンモンホソガ等の6地点、かきでフジコナカイガラムシ1地点の調査を実施した。

(4) 畑作物共済関係

(引 受)

年度	項 目	組 合 員 数	引 受 面 積	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
	畑作物区分						
令和5年度	大 豆	293	214,486	500,312,901	18,505,919		
	そ ば	46	22,400	42,931,810	2,217,037		
	うち 地域インデックス方式	5	4,495	3,392,316	91,143		
	計	延実 339 336	236,886	543,244,711	20,722,956	13,749,683	34,472,639

(被 害)

項 目	被害組合員数	共 済 金	共済金 共済金額
畑作物区分			
大 豆	177	74,873,301	15.0
そ ば	16	2,572,582	6.5
計	延実 193 192	77,445,883	14.3

※畑作物区分そばのうち、令和5年産の地域インデックス方式は共済金が未確定のため実績に含まない。

(支 払)

項 目	支 払 月 日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
			保 険 金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	そ の 他	
大 豆	令和5年12月28日 令和6年 3月29日	74,873,301		31,832,666			0	100.0
	令和5年 5月29日 令和6年 3月29日	3,078,544		2,572,582			42,190	100.0
計		77,951,845	36,332,179	34,405,248	6,835,280	336,948	42,190	100.0

※畑作物区分そばの実支払共済金は、令和4年産の地域インデックス方式に係る実績を含む。

(引 受)

大豆は、作付面積4,660ha(農林水産省公表)に対し引受面積は46.0%の2,145haで、作付面積の減少及び収入保険への移行により前年産に対し約208ha減少した。共済金額は5億31万円となり、前年産より約1億968万円減少した。そばは、作付面積594ha(農林水産省公表)に対し引受面積は37.7%の224haで、前年産に対し約53ha増加した。共済金額は4,293万円となり、前年産より約1,796万円増加した。

(被 害)

大豆は、播種直後の降雨の影響により土壌湿潤害が発生し、生育不良となった。また、7月12日に発生した線状降水帯による豪雨の影響で冠水や土砂の流入が発生し、生育が阻害された。梅雨明け以降の高温・少雨により落花・着莢不良が発生して青立ち(莢先熟)が助長され、減収につながった。一部圃場では干害が発生し、株が枯死した。そばは、播種期の高温・少雨で干害、9月上旬の大雨で土壌湿潤害が発生し、出芽不良となった。また9月の強い風では倒伏、収穫直前の11月6日の強風では茎の折損・子実の脱粒が発生した。一部の圃場では虫害や獣害が発生した。

(損害防止)

大豆の主要害虫であるハスモンヨトウの予察調査を6カ所、ウコンノメイガ、カメムシ等の生育期害虫調査を8カ所、ネキリムシ調査を1カ所で実施した。

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

項 目 施設区分	組員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
	人	棟	m ²	万円	万円	円	円	円
ガラス室Ⅰ類	—	—	—	—	—	—	—	—
ガラス室Ⅱ類	30	53	14,587	21,879	19,547	137,735	69,984	207,719
プラスチックハウスⅠ類	—	—	—	—	—	—	—	—
プラスチックハウスⅡ類	981	3,938	702,106	366,522	324,566	22,641,337	6,979,448	29,620,785
プラスチックハウスⅢ類	2	5	1,485	1,321	1,074	89,659	32,255	121,914
プラスチックハウスⅣ類甲	27	44	14,066	18,460	14,896	588,997	111,981	700,978
プラスチックハウスⅣ類乙	33	54	30,715	47,545	39,477	980,879	163,895	1,144,774
プラスチックハウスⅤ類	7	8	2,465	2,456	2,040	44,108	35,974	80,082
プラスチックハウスⅥ類	7	18	11,171	6,310	4,989	317,258	99,847	417,105
プラスチックハウスⅦ類	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,087	4,120	776,595	464,493	406,589	24,799,973	7,493,384	32,293,357

(被 害)

項 目 施設区分	被 害			損害の額	共 済 金						共済金 共済金額
	組員数	棟 数	附帯施設数		特定園芸施設	附帯施設	施設内農作物	撤去費用	復旧費用	合 計	%
	人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	%
ガラス室Ⅰ類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ガラス室Ⅱ類	1	1	0	25,982	25,927	0	0	0	0	25,927	0.01
プラスチックハウスⅠ類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
プラスチックハウスⅡ類	37	47	7	3,795,344	2,960,352	251,361	8,356	0	2,308	3,222,377	0.10
プラスチックハウスⅢ類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
プラスチックハウスⅣ類甲	1	1	0	376,810	376,810	0	0	0	0	376,810	0.25
プラスチックハウスⅣ類乙	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
プラスチックハウスⅤ類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
プラスチックハウスⅥ類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
プラスチックハウスⅦ類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	39	49	7	4,198,136	3,363,089	251,361	8,356	0	2,308	3,625,114	0.10

(支 払)

項 目 年度区分	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
		保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	
	円	円	円	円	円	円	%
当 年 度 分	3,625,114	560,975	3,064,139	0	0	0	100.0
過 年 度 分	—	—	—	—	—	—	—
合 計	3,625,114	560,975	3,064,139	0	0	0	100.0

(引 受)

戸数加入率80%を目標に、年3回の加入推進月間を設け、育苗ハウスへの加入推進やニーズに合わせた加入コースの案内、リスク啓発のチラシ配付などを行い、前年度より75戸の増加（戸数加入率78.3%）となった。

(被 害)

風害が全体被害の70.0%を占め、合計39棟、約254万円の支払いとなった。特に11月には強風（最大瞬間風速25.6m/s）による被害が発生し、合計16棟、約51万円の支払いとなった。また、12月には雪害により1棟の全損被害が発生した。

(6) 任意共済関係

① 建物共済

(引 受)

加 入 棟 数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 棟当り 平均共済 金額	任意保険料	保険手数料
		純共済掛金	賦 課 金			
棟	千円	円	円	千円	円	円
66,736	1,067,004,060	513,326,928	340,715,253	15,988	280,239,639	93,642,522

上記引受は、年度内満了短期月引受を含む。

項目 種類	加入棟数	共済金額	共 済 掛 金		
			純共済掛金	賦 課 金	総 額
	棟	千円	円	円	円
総合共済	6,552	67,869,530	123,391,234	38,950,953	162,342,187
火災共済	60,184	999,134,530	389,935,694	301,764,300	691,699,994
計	66,736	1,067,004,060	513,326,928	340,715,253	854,042,181

任意保険割合 地震等部分 50.0 %

地震等以外 30.0 %

保険手数料割合 総合共済 19.50 %

火災共済 39.12 %

※保険手数料の割合は物件等毎に異なるため、平均の割合とした。

(事 故)

事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)		任意保険金	被害率 (ロ) / (イ)
		火 災	風水害等		
棟	千円	円	円	円	%
1,382	20,766,960	86,630,593	478,024,241	242,887,679	2.7

(原因別事故発生状況)

項目 事故の原因	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	任意保険金	被害率 (ロ) / (イ)
	棟	千円	円	円	%
失 火	11	189,000	86,630,593	25,989,173	45.8
落 雷	494	9,080,740	62,398,648	18,719,379	0.7
自然災害	695	8,038,320	396,074,741	192,313,918	4.9
その他	182	3,458,900	19,550,852	5,865,209	0.6
計	1,382	20,766,960	564,654,834	242,887,679	2.7

② 農機具共済

(引 受)

項目 区分	加入台数	共済金額	共 済 掛 金		1 台当たり 平均共済金額
			純共済掛金	賦 課 金	
	台	千円	円	円	円
計	3,712	12,937,270	44,869,137	18,310,926	3,485,256

(事 故)

項目 区分	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ) / (イ)
	台	千円	円	%
計	245	130,727	28,601,432	21.9

③ 保管中農産物補償共済

(引 受)

項目 区分	加入戸数	共済金額	共 済 掛 金		保険料
			純共済掛金	賦 課 金	
	戸	千円	円	円	円
水 稻	5	7,000	31,850	13,650	33,894
大 豆	0	0	0	0	0
計	5	7,000	31,850	13,650	33,894

(事 故)

項目 区分	事故件数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ) / (イ)
	件	千円	円	%
水 稻	—	—	—	—
大 豆	—	—	—	—
計	0	0	0	0.0

(引 受)

建物共済は共済金額 1 兆670億400万円と前年度実績に対し323億523万円の減少となったが、近年多発する自然災害に備えた総合共済の推進に努めたことから、総合共済は前年度実績に対し484棟、共済金額で69億5,324万円の増加となった。

農機具共済は、共済金額129億3,727万円と前年度実績に対し、7億3,427万円の増加となった。

(事 故)

建物共済の事故については1,382棟、支払共済金が5億6,465万円となり、前年度に対し棟数は517棟増となり、支払共済金は2億9,887万円の増となった。原因別では、自然災害が695棟（そのうち地震が563棟、3億6,664万円）と最も多く、前年より277棟の増となった。

農機具共済の事故については245台で、支払共済金は約2,860万円となった。前年度に対し台数で7台の減となり、支払共済金は1,361万円の減となった。